

宮代町 安全な通学路を

県による主な事業



笠原小学校は、別称「童城の学校」と呼ばれ、児童たちが、新たに住宅が造成されたため、学校生活を送るために子供の数が増えているのです。それに伴い、現在の通学路は、道路が狭く歩道が十分整備されていないことから、PTAから通学路変更の要望が小学校や町教育委員会に提出されています。

併せて、今回は金子哲也PTA会長から「通学路変更に伴う安全対策の要請書」が出されました。変更される通学路は、主に県道蓮田杉戸線と県道春日部・久喜線を通るために安全対策は県と町が連携して行う必要があります。

そこで、金子PTA会長の要望を受けて、町と協議し、県で行うことを杉戸県土整備事務所にお願ひしていきます。子供たちの通学路の安全対策は、最優先課題です。

通学路が決定次第、一日も早く実現していきます。



宮代町役場の周辺。東武動物公園駅西口のメインストリートが川のように。繰り返される被害に、「早急な対策を求める」声があがりました。

「浸水対策を求める」 請願

全議員の賛成で採択
2019年10月、東原小学校、新しい村が日本に記録的な大雨を、図書館周辺と広範囲もたらした台風19号にわたりました。

「浸水対策を求める」請願が町12月議会に提出され、全議員の賛成で採択されました。

町は県に強く要望し、ポンプによる排水整備など早急な対策が予算化され、工事が行われました。

また、姫宮落川の整備事業には県の予算が継続し、整備が進んでいます。

請願紹介議員

請願者 青木 功氏
田原淳之介氏



金子正志



小河原 正

「良くなるね」

1級河川の姫宮落川は、白岡市・宮代町を流れています。現在埼玉県の予算で下流から道佛橋まで川幅拡張と護岸工事が行われています。

「宮代町は東京にも近いし良い町だ。しかし、川幅が狭いので大雨の度に田んぼや道路が冠水してきかた。この工事はありがたい。お陰で良くなるね」と笑顔で話してくれました。

(2022年1月24日 岡しげお記)

東武動物公園駅 東口



駅前ロータリーと駅前通りの整備が進んでいます。駅前通りは無電柱化となり、完成後の街並みの景観が楽しみです。

東口駅前の宮代町が長をはじめ地域の皆様ら、杉戸町に通じる道ととも、次の世代を担う子ども達のためにも関わらず、歩道がなく危険な道路です。いまを待たずして、私達の時代に良いまちを残していきたいと思っております。

新橋通り線



カスミ宮代店から東武鉄道のアンダーパスを通り、古利根川に新橋を架けて、杉戸町4号国道までつなぐ都市計画道路です。故・石

井真一議員も熱心に取り組んでいました。新橋通り線が完成すると、東小学校周辺の車の交通量は激減します。児童の安全な通学のためにも必要な、大事な県道整備です。

和戸交差点



工事現場の進捗状況を見るたびに、これまで県へ粘り強く、事業の実施を要望してきた苦勞が報われる思いです。

岩槻から幸手に向かう御成街道(将軍が日光社参の際に使用された街道)。交通量も多く朝夕の渋滞が大きな課題です。交差点全体を拡張し、歩行者の安全を得ています。

東小学校 歩道橋



「雨の日には靴が濡れない?」と私が児童に問いかけると「大丈夫です」と元気な声が返ってきました。

東小学校横の道は渋滞が激しい。で、宮代町役場から要路は渋滞が激しい。2021年、当時PTA会長の浅倉孝郎さんから「歩道橋の階段部算で改修工事が完了。」



宮代町議会議長・副議長への説明

県の宮代町における大型事業等を説明し、意見交換を行いました。東武動物公園駅東口開発、和戸地区東武鉄道立体交差事業、姫宮落川の大規模改修事業など、県の事業には地元の協力も必要です。町議員が地元の要望などを聞いて、県と町が協力して実現していく事が大切です。2022/4/6



和戸の踏切の工事

この事業は、私が県議会議員に初当選した15年前に、地元から「これまで、地元が熱望している和戸交差点の大渋滞を解消するための県の動きが全くない」との声があり、最初に手掛けた大事業です。県との予算折衝と事業化、更には宮代町への協力要請など地道に一つひとつ確実に活動してきました。2022/12/13



宮代町の予算書

新井康之町長が岡しげお宮代事務所を訪れて、令和5年度の予算を説明して頂きました。宮代町の「私たちの予算書」は、町民目線で作られていて内容が実に分かり易いものです。そこには、新井町長自身の考え方が、町民の意見を受け入れ町民と一緒に街づくりをしようという姿勢の表れだと感じました。2023/2/15